令和８年度イクボス同盟ひろしまイベント業務
公募型プロポーザル選定委員会（第１回）　議事要旨

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和８年８月５日(水)から 17 日(月)
2	場　　所	書面開催
3	出席委員	広島県商工労働局雇用労働担当部長 広島県商工労働局人的資本経営促進課長 広島県商工労働局人的資本経営促進課担当課長（女性活躍担当） 広島県環境県民局わたしらしい生き方応援課長 広島県総務局広報課長
4	議　　題	令和８年度イクボス同盟ひろしまイベント業務の評価基準等に関する審査
5	担当部署	広島県商工労働局人的資本経営促進課（女性活躍グループ）
6	開催方法	書面
7	議事内容	公募型プロポーザルを実施するにあたり、選定過程における公平性・透明性を確保するため、評価基準等について協議し、決定した。

令和８年度イクボス同盟ひろしまイベント業務
公募型プロポーザル選定委員会（第２回）　議事要旨

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和８年９月 16 日(水)から 24 日(木)
2	場　　所	書面審査のため持ち回り
3	出席委員	広島県商工労働局雇用労働担当部長 広島県商工労働局人的資本経営促進課長 広島県商工労働局人的資本経営促進課担当課長（女性活躍担当） 広島県環境県民局わたしらしい生き方応援課長 広島県総務局広報課長（代理）
4	議　　題	令和８年度イクボス同盟ひろしまイベント業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	広島県商工労働局人的資本経営促進課（女性活躍グループ）
6	開催方法	１　参集 ２　持ち回り

7	議事内容	選定委員会において、提出された企画提案書を審査し、最優秀提案者を選定した。 １：株式会社読売アルスＲ　広島支社 ２：株式会社中国新聞社 ３：株式会社ちゅピＣＯＭ ４：株式会社さとゆめ 審査結果については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 各選定委員の主な評価・選定理由については次のとおり。 【１】 ・グループディスカッションなど運営形式の工夫は見られる。 ・テーマ設定等の企画内容が実施方針で提案しているイクボスの概念の拡張に結びついていない。 ・イベント参画者のキャスティングのねらいが直感的にわかりにくく、ターゲットに訴求したい情報が十分に伝わるのか、やや疑問。 ・イベント内容及び集客方法ともにバランスの良い企画提案となっており、イベントの成功が期待できる。 ・参加者が話を聞くだけでなく、自らもディスカッションを実施することで、学びが深くなる効果が期待できる。 ・ディスカッションのグループごとの参加者の属性について、ディスカッションが互いの知見となり、活用できるよう工夫する必要がある。 ・企業の経営者や管理職層に向けた内容を充実されたい。 ・参加者募集やイベント未参加の対象者への情報発信については、効果的な広報手法が提案されているが、イベントの企画においては、業務の趣旨を汲み取り切れていない部分も見受けられる。 【２】 ・現場のギャップを深掘りした課題設定となっており、イベント参画者のキャスティングのねらいも明確に説明されている。 ・行動変容を促すメソッドや効果を測定するツールの活用など、独自の企画性があり、事業効果に期待したい。 ・様々なターゲット層に刺さりそうなイベント内容となっているだけでなく、広報についても内容、媒体ともに申し分ない企画提案となっている。 ・実施方針や、企画がしっかりと組み立てられており、評価できる。 ・企画のねらいである、風土の醸成、制度から「運用・対話」への昇華については、トークセッションによるところが大きいことから、実施に際しては、調整を十分行う必要がある。

		・行動につなげる手法の有効性を高めるためには、トークセッションが重要であり、企業の経営層やコンサルタントの視点からの内容を充実されたい。 ・本業務の趣旨を十分理解された上での提案がされている。 【３】 ・実施方針において、本業務への理解や課題認識が十分であるのか、やや疑問。 ・キャスティングしているイベント企画者のクロストークは何を伝えようとしているイベントなのか目的が不明。 ・メイン講師だけでなく、イクボスのテーマにマッチするスペシャルゲストの提案にインパクトがあり、十分な集客が期待できる企画提案となっている。 ・基調講演とクロストークの相乗効果が高く期待できる提案内容となっている。 ・その他プログラムとして「クロストーク」を提案されているが、経営者等が行動するきっかけにどのようにつながるのか不明瞭である。 ・業務の趣旨を汲み取り切れていない部分が見受けられる。 【４】 ・行動変容に促すセルフチェックやお悩み相談タイムなど工夫が見られるが、ワークショップ型イベントの企画提案となっており、今回の時間枠では十分な事業効果が期待できない。 ・イベント参画者はそれぞれの分野で活躍されている実力者であるが、集客インパクトとしてやや弱さがある。 ・イクボス度チェックやイベントの最後にイクボス宣言をするなど、参加者がイベント後に行動に移せる仕掛けを十分に考えられた提案となっている。一方で、広報の提案が弱く、集客に若干の不安がある。 ・参加者一人一人の自分事としての認識を促す構成となっており評価できる。広報手法については更に充実する必要があるのではないか。 ・企業経営者や意識変革の視点からも多様な意見から課題解決についてヒントを提示する案となっており、行動につながることが期待できる。 ・企業の実践例や課題の選定が納得性の高いものとなるよう工夫してほしい。 ・業務の趣旨を汲み取り切れていない部分が見受けられる。